



令和元, 8, 29

縄瀬 保育園

山元 紀代美

NO7

(みんなちがってみんないい!)

「見守る保育」について、応答することの大切さ

「何がしたいの?」「何をしてほしいの?」

管理保育をやめて、指示や命令を極力少なくしてきました。そこで誤解を受けるのが、ただ「見守っているだけの保育」「放任ではないか?」ということです。しかし、私たちの保育は決してそうではありません。子どものそばで「あなたは何がしたいの?」そして「あなたは何をしてほしいの?」、この二つについて心の声を聴き、観察することを大切にしています。子どもの様子を見ながら、「ちょっとだけ手伝ってほしい」とか、「言葉で応援してほしい」とか「今はそばで見てほしい」などの心の動きを読み取り、子どもの気持ちに応答していく。これを大事にしながら保育をしています。

じっと見守るのが大事になってくるのは、子どもの気持ちが「今はみてて!」と言うサインを保育者が受け取り、子どもの思いに寄り添ったときの対応です。だから、この保育はすごく奥が深いし、難しいです。

以前は子ども達に「何がしたい?」「どんな気持ち?」と話を聞くと黙り込んで「わかんない!」という子ども達に違和感を感じていましたが、最近は少しずつ、自分は何がしたいのか?何をしてほしいのか?を話せるようになってきました。

それは、子ども側の問題ではなく、自分たち大人の問題でした。子どもが何かを言う前に、自分の物差しで「こうしなさい!」「これはダメ!」「あぶない!」と言ってきたように思います。そして子ども達は自分の意見を言うことをあきらめてしまったんだと思います。



8月の終わりから、9月の初めは子どもの自殺が増える!と盛んに

テレビなどでニュースになっています。

小さいころから、管理された生活を送ってきた子ども達がすり減り、「助けてください」が親や周りの大人たちに言えず、死を選ぶほど追いつめられている現状が悲しくなります。

せめて、保育園時代は、のびのびとやりたいことを存分にやらせ、達成感を味あわせたり、自分は自分のままでいいんだ!という感覚を、育ちの根っこに持ってほしいと強く思います。

これも、毎日の積み重ねが大事で、時々、後退してしまうことも多いのですが、志は大きく持って、前に進んでいきたいと思います。



楽しい3歳児さん

先日、園長室の前で、4人の3歳児が輪になって相談をしていました。1人が「園長に言ってこよう!」と入ってきました。「Rくん(3歳児)がSくん(4歳児)にエイ!ってされた!」と言ってきました。泣きべそのRくんを残りの2人が手を繋いで・・・「おもしろい!」とニヤニヤする私。Rくん、涙は出てない!

「かわいそう!大丈夫だった?」と聞くとさらに、状況をそれぞれ話してくれました。そしてRくんの頭をなぜながら「よし!よし!」とやってきました。(後で聞くとSくんの遊びの邪魔をしたようで・・・やっぱり!)

今まで「人のことにはわれ関せず!」の3歳児が一致団結していたのには、職員で大笑いでした。それと保育園では園長が一番偉い!と子ども達の中ではあるんだなあ・・・がんばります!

